

陸上競技に対するイメージに関する研究—陸上競技経験者と未経験者の比較—

A study on image of Track and Field

1K05B025

井脇 昌玄

指導教員

主査 作野誠一先生

副査 磯繁雄先生

【緒言】

世界において陸上競技は、世界三大スポーツイベントの1つとして世界陸上があるように普及、発展している。しかし、日本においては、少子化などの影響により衰退の一途を辿っており、陸上競技人口も年々減少している。Boulding(1982)は、「行動がイメージに依存している」とし、「ある人の過去経験の総合的結果としてイメージができあがる」と述べている。この立場に立つならば人間はイメージによって行動していると考えることができる。

そこで、そこで本研究は、陸上経験者と未経験者が陸上競技に対するイメージの違いを比較検討した。

【方法】

- (1) 対象:早稲田大学競走部員と早稲田大学スポーツ科学部生を対象にアンケート調査により行った。
- (2) 期間:2008年10月24日から11月19日に実施
- (3) 調査方法:イメージの測定法としてSD法を用いた。本調査で使用したスケールは先行研究を基に作成した。
- (4) データ処理:短距離、長距離、投てき、跳躍種目群ごとにイメージの評定平均、標準偏差を算出し、分析を行った。

【結果と考察】

短距離に関しては、初めに経験者と未経験者ともに「面白い」と感じていた。絶好のコンテンツである事が伺えるので、日本が実績と記録共に向

上していけば、短距離種目の人気上がり、普及につながる可能性が高いといえるのではないだろうか。次に、未経験者は短距離を「単純」と考えているが、経験者はそうとは考えていない。未経験者は走るという動作について真剣に考えた事がないために、このような結果が出たものと推測される。最後に、「強い—弱い」の項目で経験者と未経験者との間に大きなイメージの差が存在した。経験者が、「強い」と感じているのは100m走は花形種目で最も注目されることに起因すると考えられる。

長距離に関しては注目すべき点が3つある。1点目は経験者、未経験者共に、長距離を「長い」「苦しい」と感じている点である。これは、子どもの体力低下に歯止めをかけるため、授業で体力向上を目的とする持久走が行われている学校教育が原因と推測する。2点目には、経験者は「おもしろい」「深い」と感じているが、未経験者はそう感じていない点である。つまり、両者に長距離に対する興味の違いが如実に現れているのである。未経験者は、「かけひき」、駅伝での「ブレーキ」などの長距離の魅力の存在に気づいていないのであろう。3点目に、長距離に対して深いイメージがそれほどない。つまり興味がない事である。しかし、今や中高年を中心にジョギングは普及している。長距離の魅力は年齢が上がるにつれて実感するものなのかもしれない。

投てきに関しては、「複雑な—単純な」において経験者と未経験者に大きな差があり、唯一「どちらでもない」をはさんでおり、また、経験者は「面白い」と感じているが未経験者はそう感じておら

ず、更には経験差だけが「深い」と感じていた。つまり、経験者は投てきを「複雑な」と捉えているが未経験者はそうは感じていないのであり、経験者だけが投てきを「面白い」と感じているのである。これは未経験者は普段なじみの少ない投てきを経験したことがないからであると考ええる。

跳躍に関しては、3 点指摘できる。初めに、経験者は跳躍を「複雑な」「深い」と感じており、その結果「好きな」「面白い」スポーツ感じているのに対して、未経験者はそうは感じていない点である。

これは投てきで述べた傾向と非常に似ている。つまり、これは投てき同様、あまり普段跳躍に慣れ親しむ機会が少ない事が原因だろう。次に経験者、未経験者とも「美しい」と「綺麗な」と感じている人がいることである。これは、跳躍は清潔感があると捉えているのであろう。原因として、まず跳躍選手には細い人が多く、容姿に優れている人が多いからだと思う。最後は、経験者と未経験者の両者とも「高い」と感じている点である。これは、陸上競技数ある種目の中で、棒高跳びと走り高

跳びの 2 種目だけが、高さを競う競技であるからだと予想できる。

【結論】

本調査により以下のことが明らかになった。

- 短距離、長距離、投てき、跳躍、これら 4 種目間すべてにおいてイメージは異なり、更に種目内での経験者と未経験者の間でもイメージの差異が存在する。
- 経験者は未経験者よりも陸上競技を「深い」「難しい」スポーツと感じている。
- 陸上競技の魅力は、強さと美しさを兼ね備えており、深くて面白いスポーツである。
- 陸上競技を行う動機づけとして「強い」「美しい」「面白い」「強い」の 4 要素が重要な役割を果たし、これらの要素を未経験者に伝えられるような普及活動が陸上競技の発展に必要である。
- 陸上競技における行動はイメージに大いに依存している。